

平成27年11月10日
愛媛大学

愛媛大学戦争体験記録公開講座を開催

このたび、愛媛大学地域創成研究センターは、愛媛大学戦争体験公開講座を下記のとおり開催します。

本年は、アジア・太平洋戦争(第2次世界大戦)の終結から70年目に当たり、年間を通じて戦後70年目の戦争と平和についての語り、記録、継承が行われています。こうした時、愛媛大学の教員・学生もこの主題に取り組みたいと考えています。

講座では、戦争体験者や戦争体験の継承に取り組む方々を講師にお招きし、二部構成で講演や対談を行います。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時:平成27年11月15日(日) 10:30~16:00 ※学生祭期間

場 所:愛媛大学南加記念ホール(正門入ってすぐ右側)

スケジュール:別紙のとおり

対 象:学生, 一般の方

参 加 費:無料

申 込 み:以下までご連絡ください

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学地域創成研究センター
教授 和田 寿博

TEL:089-927-9260/FAX:089-927-9260/E-Mail:wadat@LL.ehime-u.ac.jp

駐 車 場:無(公共の交通機関をご利用ください)

※伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」下車, 北へ徒歩約2分

※報道機関の方で、車で取材に来られる場合は、正門警備員室で会社名等をご記入の上、来客用駐車場を利用してください

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学地域創成研究センター

教授 和田 寿博

TEL:089-927-9260

※送付資料2枚(本紙を含む)

2015年10月15日

愛媛大学戦争体験記録公開講座のおしらせ

本年はアジア・太平洋戦争＝第2次世界大戦の終結から70年目に当たり、年間を通じて戦後70年目の戦争と平和についての語り、記録、継承が行われております。こうした時、愛媛大学の教員・学生もこの主題に取り組みたいと考えました。以下の要項で行事を開催しますので、ご出席、ご協力をお願いします。

(記)

行事：愛媛大学戦争体験記録公開講座

主催：愛媛大学地域創成研究センター

協力：愛媛大学平和学受講生

代表：和田寿博（愛媛大学教授）

主題：「戦後70年 愛媛・四国の戦争体験の記録と継承」

日時：2015年11月15日（日） ＊学生祭期間

会場：愛媛大学南加記念ホール ＊正門入る右手の建物

対象：学生・市民ほか

参加費：無料

企画：10：30-開場

11:00-13：00 第1部 愛媛・四国の戦争体験を語る・聞く・伝える

開会挨拶：和田寿博（愛媛大学教授）

記念講演：杉野富也（元海軍航空隊員）

主題：松山掩体壕と戦友

対 談：畑野稔（元海軍飛行予科練習生）

黒田美知子（宇和島空襲を記録する会代表）

平和学受講生

13：30-16：00 第2部 戦争遺跡・文化財としての松山掩体壕を考える

記念講演：藤原義一（戦争遺跡保存ネットワーク高知連絡会会員）

主題：高知県の掩体壕保存

対 談：杉野富也（元海軍航空隊員）

池田宏信（郷土史家）

岡崎直司（近代化遺産研究家）

閉会挨拶：和田寿博（愛媛大学教授）

備考：公共交通機関を利用ください。

申し込み・問い合わせ先：

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学地域創成研究センター 和田寿博教授

電話：089-927-9260 FAX：089-927-9260

電子メール：wadat@LL.ehime-u.ac.jp

愛媛大学戦争体験記録公開講座 講師の紹介

杉野富也さん（90歳 元海軍航空隊員 偵察機『彩雲』の元搭乗員）

偵察機搭乗員として、終戦間際の高知、松山、鹿児島に配属。鹿児島県鹿屋基地から出撃する特攻隊員を何度も見送った。粗末な練習機の操縦席に250キロ爆弾をワイヤーでくくりつけ飛立つ仲間。「次は自分か」そう覚悟していた。「松山空港に残る掩体壕は彼らの墓標だ。記憶に残したいのです」。今夏、南海放送ラジオ「ラジオ平和学 ―今こそ伝えたい、戦争体験者の証言―」に出演した。

畑野稔さん（85歳、元海軍飛行予科練習生）

14歳の時、海軍飛行予科練習生を志願し、海軍松山航空隊に入隊の後、1945年5月、海軍回天特攻隊光基地に配属された。松山市に平和資料館をつくるために尽力している。

黒田美知子さん（宇和島空襲を記録する会代表）

長年、宇和島空襲を記録する会代表を務めた故水野政子さんの遺志を継ぎ、宇和島空襲犠牲者の慰霊事業や戦争体験の記録と継承に努めている。

藤原義一さん（68歳、戦争遺跡保存ネットワーク高知連絡会会員）

1947年に生まれ高知県で育つ。平和資料館・草の家(高知市)学芸員。「本土決戦期(1945年1月から終戦まで)の高知での戦闘配置」などを研究し、高知県の掩体壕や戦争遺跡の発掘と保存に詳しい。

池田宏信（38歳、郷土史家）

1977年、愛媛県出身。松山の掩体を考える会事務局長。『昭和二〇年八月、愛媛の本土決戦準備始末 防衛庁戦史部所蔵史料からみる 陸海軍部隊の配備と現存する戦争遺跡』（晴耕雨読）など愛媛の戦争体験についての著作を出版。

岡崎直司（61歳、近代化遺産研究家）

1954年、愛媛県出身。町並み保存をライフワークとし、文化財保存、近代化遺産などに詳しい。（公財）えひめ地域政策研究センターで講師を務め、宇和・中町を守る会顧問、えひめ地域づくり研究会議事務局長。

行事：愛媛大学戦争体験記録公開講座

主催：愛媛大学地域創成研究センター／同講座実行委員会

協力：愛媛大学平和学受講生

主題：「戦後70年 愛媛・四国の戦争体験の記録と継承」

日時：2015年11月15日（日） 10：30～16：00

会場：愛媛大学南加記念ホール